しまねの河川と海岸

令和２年１１月号

発行：島根県土木部河川課

〔目 次〕

◆命と生活を守る新国土づくり研究会（12 県知事会）の開催	河川課　企画調査Ｇ
◆波積ダム　初打設式を行いました	浜田河川総合開発事務所
◆新ダムカードの配布について	浜田県土整備事務所
◆昭和４７年洪水標識の更新について	松江県土整備事務所

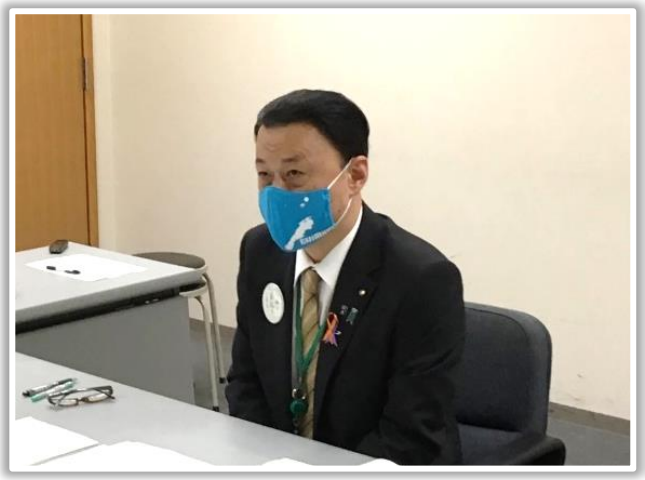
【新型コロナウイルス感染拡大防止のため】
・３密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けましょう！

命と生活（くらし）を守る新国土づくり研究会（12県知事会）の開催
～令和2年11月16日～

河川課企画調査グループ

全国12県の知事により構成する『命と生活（くらし）を守る新国土づくり研究会』が11月16日（月）にWeb会議形式にて開催されました。この研究会は、洪水、土砂災害等から人命・財産を守り、安全で安心して暮らせる国土をつくること等を目的として、平成6年9月に発足し、今年度で24回目の開催となります。

研究会では、会長である丸山知事の開会挨拶、来賓の朝日国土交通大臣政務官の挨拶の後、「流域治水プロジェクト」に必要な財源確保や「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」の5か年延長などについて提言しました。その後、「気候変動を踏まえた防災・減災対策について～流域治水への転換に向けて～」をテーマに、出席した各県知事・副知事等が意見発表を行い、井上水管理・国土保全局長からは、「流域治水」などの最近の話題について紹介がありました。



丸山島根県知事（会長）

朝日国土交通大臣政務官

井上水管理・国土保全局長

Web会議の状況

意見発表において丸山知事は、気候変動の影響による激甚化する豪雨災害への対応は、ますます重要性を増しており、地方の実状を踏まえて中長期的に行う必要があることから、治水関係予算の増額するよう訴えました。

【12 県の構成】

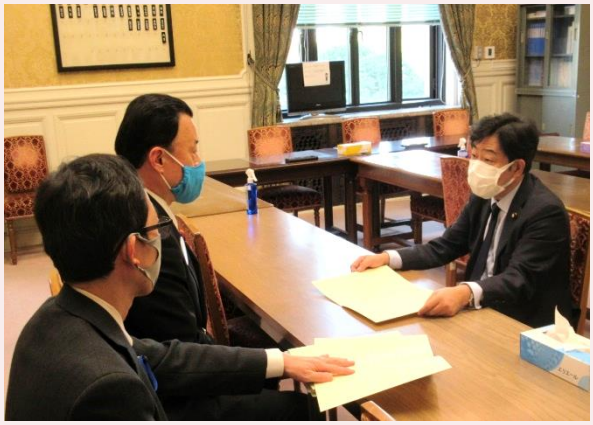
岩手県、宮城県、**埼玉県**、**富山県**、**福井県**、**岐阜県**、兵庫県、**島根県**、**広島県**、**徳島県**、**長崎県**、**鹿児島県**（※**太字ゴシック**は、知事・副知事等が出席した県）

また研究会終了後、丸山知事は井上水管理・国土保全局長や治水議員連盟の山本会長などと面談し、治水事業予算の確保や国土強靱化対策の期間の 5 か年延長、流域治水の推進について、提言しました。

【井上水管理・国土保全局長（中央）への提言】
丸山知事が鹿児島県の岩切副知事（左）とともに提言活動を行いました。

【治水議連会長の山本有二衆議院議員への提言】

【治水議連の盛山正仁衆議院議員への提言】



【治水議連の青木一彦参議院議員への提言】

波積ダム　初打設式を行いました

浜田河川総合開発事務所 波積ダム建設課

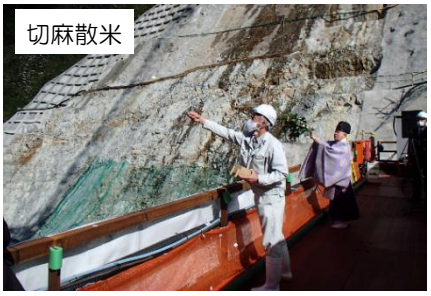
波積ダム本体建設工事において、ダム本体コンクリートの打設を本格的に開始することから、令和２年１０月２７日（火）に「波積ダム本体建設工事　初打設式」を行いました。

式典には島根県、江津市、施工業者の約３０名が出席し、工事の安全を祈願する神事を行い、古川所長から「事業のピークを迎える。関係者で連携し、安全第一で着実に進めていく」との挨拶がありました。

その後、工事担当者の「打設開始！」の合図で、大型バケットに入れられたコンクリートを３５０ｔクローラークレーンで吊り上げて打設箇所に移動、バケットからコンクリートが流し込まれると、盛大な拍手と万歳三唱によって打設の開始を祝いました。

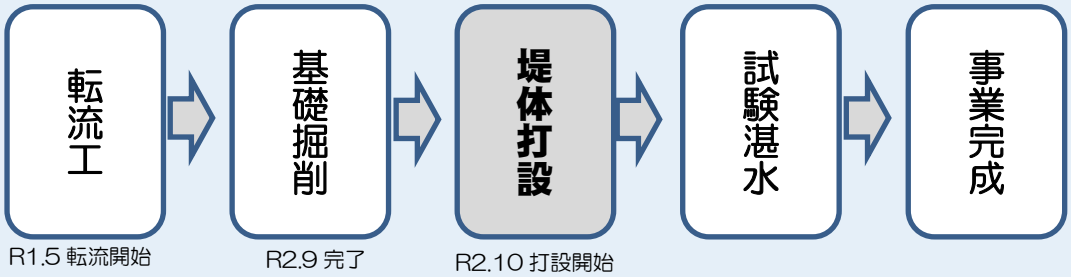
波積ダム本体建設工事では、現場内に設置したバッチャープラントにて日最大約５００㎥のコンクリートを製造し、１年余りをかけて約７万㎥打設します。

今後、ダム本体打設と併せて、基礎処理工やダム管理所の建物工事を進め、令和４年の事業完成を目指します。

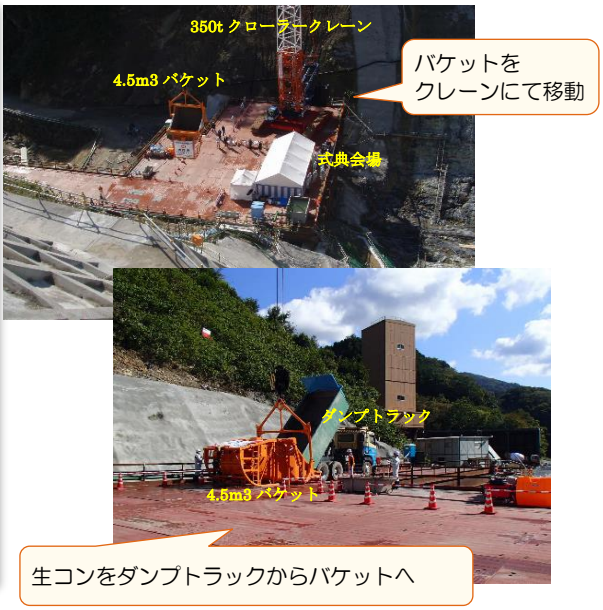


【安全祈願祭の様子】

【工事工程】



事務所職員で記念撮影



新ダムカードの配布について

島根県浜田県土整備事務所

島根県浜田県土整備事務所が管理しているダムのうち、「浜田ダム」、「大長見ダム」、「御部ダム」で新しいダムカードの配布を、令和２年１１月１日（日）９時から下記のとおり開始しています。

浜田ダム

既存ダムの再開発工事を終え、令和２年６月より運用を開始しています。
これにより、新ダムカードを配布します。
【配布場所】
第二浜田ダム管理所（浜田市河内町 1952-2）

※1 浜田ダムには、管理所はありません。第二浜田ダム管理所が、浜田ダム及び第二浜田ダムを管理しています。
※2 配布には、ダムへ行った証明写真が必要となります。

大長見ダム

令和元年１１月より、大長見発電所（県企業局管理）の運用を開始しています。
ダムの目的に、新たに「発電」が加わったことにより、ダムカードをリニューアルします。

【配布場所】　大長見ダム管理所（浜田市長見町 934-14）

御部ダム

平成２年に運用を開始してから、令和２年で３０周年を迎えました。これを記念し、３０周年記念ダムカードを配布します（限定２，０００枚）。
【配布場所】
御部ダム管理所（浜田市三隅町黒沢 2368-6）

【配布時間】
9:00～17：00
（土日祝含む）

※各ダム（管理所）にお越しいただいた方のみ、**１人１枚**配布します。

【お問い合わせ先】
島根県浜田県土整備事務所
維持管理部 ダム管理第二課 ☎0855(29)5576
第二浜田ダム管理所 ☎0855(22)3051
大長見ダム管理所 ☎0855(22)8340
御部ダム管理所 ☎0855(35)1421

令和2年11月1日(日)
9:00～配布開始

島根県浜田県土整備事務所からのお知らせ

－ しまねインフラツーリズム in IWAMI －

新ダムカードの配布を開始します！

島根県浜田県土整備事務所が管理するダムのうち，『浜田ダム』『大長見ダム』『御部ダム』で，新しいダムカードの配布を開始します．現地へ訪れた方を対象にお配りしますので，ぜひ各ダムへお越しください．

浜田（はまだ）ダム　（島根県浜田市三階町・河内町）

浜田ダムは，第二浜田ダム（平成28年10月運用開始）と一体となって，浜田川下流域の洪水被害を低減させます．
「ゲートダム」から「ゲートレスダム」への改造工事を終え，令和2年6月から運用開始したことを機に，”新”ダムカードの配布を開始します．

ダム位置はコチラ↓

※浜田ダムダムカードは，「第二浜田ダム管理所（0855-22-3051）」で配布しています．
※配布には、ダムへ行った証明写真が必要となります。

大長見（おおながみ）ダム（島根県浜田市長見町）

秋になると紅く色づく山々に囲まれた紅葉湖（こうようこ）を形成する大長見ダム．令和元年11月，島根県企業局が管理する大長見発電所が完成し，運用が開始されています．大長見ダムの目的に，新たに”発電(Power generation)”が加わったことを機に，ダムカードを”リニューアル”し配布します．

ダム位置はコチラ↓

御部（おんべ）ダム　（島根県浜田市三隅町）

平成2年4月に運用開始された自然調節型の多目的ダムです．
前線や台風などによる大雨から三隅川下流域の洪水被害を低減させてきた御部ダムは，令和2年で30周年を迎えました．
これを記念して，”30周年記念”ダムカードを配布します．
【限定2,000枚】

ダム位置はコチラ↓

【ダムカードに関するお問い合わせ先】
島根県 浜田県土整備事務所 維持管理部 ダム管理第二課　TEL (0855)29-5576】

お知らせ

ガイドブック
「しまねインフラツーリズムガイド in IWAMI」では，モデルコース「ダムカードコンプリートへの第一歩『益田，浜田，江津ダム旅』」を紹介しています．ガイドブックも，ぜひご覧ください．

【ガイドブックに関するお問い合わせ先】
いわみインフラツーリズムガイド戦略会議
（事務局：島根県浜田県土整備事務所　TEL (0855)29-5654）

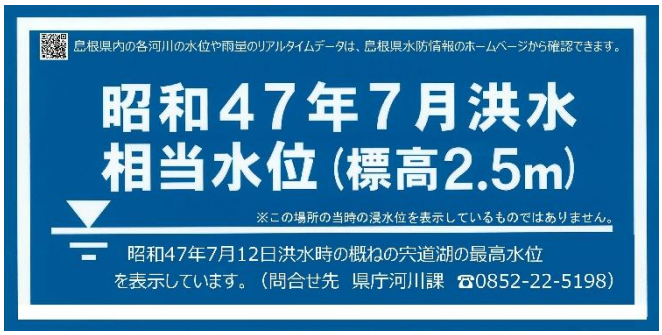
島根県石見地域のインフラ情報が満載！！

デジタルパンフレットはコチラから↓↓

昭和 47 年洪水標識の更新について

島根県松江県土整備事務所 管理課

松江市内を襲った記録的な洪水である、昭和 47 年 7 月洪水を教訓とするため、この時の洪水相当水位を示した標識を市内 265 箇所に設置しております。その内の 2 箇所が松江赤十字病院の正面入口と救命救急センター入口付近に設置されており、この度、張り替え作業を行いました。



松江赤十字病院は平成 25 年 4 月に病床数 645 床、救命救急センターを備える総合病院に建て変わっており、その際に防潮壁、防潮扉を備える水害に強い病院に生まれ変わっています。

洪水標識の張り替え

□正面入口付近

張り替え前

張り替え後

病院事務職員さん立ち会いの元、張り替え作業を行いました！

□救命救急センター入口付近

昭和４７年７月洪水時の宍道湖の概ねの最高水位である標高２.５m の位置に設置しています。

病院の浸水防止施設

洪水時は扉を締めて水の浸入を防ぎます。

設備等守るためにも設置されています。

昭和 47 年 7 月洪水のような水位となっても病院機能を維持継続出来るよう浸水防止設備を備えており、京橋川・米子川に囲まれる病院ならではの対策を知ることができました。

ことわざに「災害は忘れた頃にやってくる」とありますが、いざという時には「自らの命と財産は自らが守る」という心構えが必要です。

昭和４７年７月洪水標識は松江市内の各地に設置しています。これを見た際には、改めて洪水に対する危機意識を持ってもらい、いざという時のために日頃の備えを行っていただきたいと考えます。

【編集後記】　河川課　企画調査グループ　小林

今月は「命と生活を守る新国土づくり研究会」について掲載しました。この研究会は、構成団体の 12 県が議論した施策等を国に提言することを目的に開催しています。今年度は「防災・減災、国土強靭化のための３か年緊急対策」の最終年にあたり、今後の防災・減災対策のあり方について議論を深める貴重な機会になったと思います。また、改めてこの研究会の意義を感じることができました。

さて、島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下のホームページから申し込めますのでこちらもご利用ください。

編集者　島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL：0852-22-5647　FAX：0852-22-5681　　mail：kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課　トップページ

https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/

河川課　しまねの河川と海岸だより HP

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/

出前講座申し込み HP

https://www.pref.shimane.lg.jp/seisaku/shimanedemaekouza/

島根県水防情報システム：川の水位・雨量情報や監視カメラが見られます。

PC 版　　URL：https://www.suibou-shimane.jp/pc

スマホ版　URL：https://www.suibou-shimane.jp/s

携帯版　　URL：https://www.suibou-shimane.jp/m

スマホ版　携帯版

川の水位情報（危機管理型水位計）：洪水時の川の水位が見られます。

PC・スマホ共通　URL：https://k.river.go.jp/